

保護者欄

つばめっこと共に

泉中央つばめっこの開所と共に入所し、現在、七北田つばめっこを利用し、早いもので来年の三月にはとうとう卒業を迎えます。

息子は現在、支援学校高等部三年生です。

小・中学校は地域の学校の支援クラスに在籍しました。

つばめっこがある日は、朝からとても楽しみにしていて「今日はつばめっこだよ。おやつは何か？遊びは何か？」と話していました。

今では学校に放課後デイの車が迎えに行くということは当たり前ですが、当時は学校の先生方が放課後デイのことがよくわからず、放課後、直接学校からこども達をデイサービスのスタッフに預けるということに、とまどいがありました。

しかし放課後デイの充実により私はどれだけ助かったことか計り知れません。

息子には弟と妹がいます。小学校低学年の頃は下の二人を連れて学校の送迎をしてました。

帰りの迎えと昼寝の時間が重なると本当に大変でした。つばめっこがある時はホッとしたものです。

またつばめっこがある日は下の子達の相手をゆっくりできたり、通院に利用することができました。

息子が中学校一年生の時に私は仕事に就きました。ダウン症と告知されてから育児に専念するため退職し、約十二年ぶりの社会復帰です。

決心できたのは息子が中学生になり一人で留守番ができるようになったことと、中学校から一人で七北田つばめっこに通所できるようになったからです。

とはいえ、学校行事等で早い下校の時は利用時間を早めて頂いたりとても助かりました。おかげさまで仕事を続けることができます。

悠太の生活は学校、つばめっこ、ダンスサークル、音楽教室と一週間のスケジュールが決まっています。

来年は？と考えるととても不安です。

しかし、今春、つばめっこさんに新たに相談支援事業「つばめっこセンター」が開設され、早速利用することができました。心強い支援事業です。

こうして改めて振り返ると悠太の成長の節目には新しいものがあります。ありがたいことです。

卒業まであと半年ですが、これからも親子共々よろしくお願い致します。

ゆうこママの Happy News vol.2 テーマ「選んで生まれる。」

みなさん、お元気ですか？

今回は、息子の由緒が幼いころにあった、スリキな出来事をお話しますね。

息子がハンカチを持って生まれて、生まれていいのかとさえ考え、生んだ私のせいだと自分を責め続けていたある日、息子に念いに来た方にこう言われました。

「子どもが親を、そして人生を選んで生まれてくるのよ。」「えー、そんなことありえない！」と、その時は思いました。

それから、3年経ったころ、一本の電話が!!!「お姉ちゃん、今お姉ちゃんかきたー！」

妹はこう続けたのです。「お姉ちゃんか、なんの誘導もしていないのに突然、あのね、お兄さんのうえからみたら、パパとママかいて、たぬかにせなかをおいたらここにいたのーって言ったのー！」そう言うのです。「えー、めいこのせといろいろ話し始めたお姉ちゃんか言うなら、あの話本当なんだよ。」そうなんです。

☺ みんな、自分で選んで生まれる ☺ なんです！幼いめいこのしっかり証明してくれました。そうおくれたら「すごいね～由緒は～、この身体で生まれてくること決めてきたんだ～、かわてやりたいたいと思っただけ、私じゃともしり～。」

「私たち選ばれたんだ～。」13人な思いが、あいこまで、一緒に前に進む力が生まれました。

そして、一年後に下の妹からも電話があったのです。「うちもきたー!!」もう、これは、うたが、ようが、ありませぬよお。私たちも自分でこの人生を選んで生まれてたのさようね。

すごいね!!! 色とりどりの人生、半そりあって、みんなで歩んでいませうね。

ひとりじゃないよ ☺ ではなく、また～の Love ☺ Love ☺

つばめっこめ～る

平成28年度 No. 2

平成28年11月発行

発行責任者：桑原 則子

編集責任者：成田 賢市



特定非営利活動法人つばめっこ

〒981-3131

仙台市泉区七北田字日野123-9

TEL:022-372-0031

FAX:022-739-7236

http://tsubamekko-1.uh-oh.jp/

理事長 桑原 則子

来年1月で「特定非営利活動法人つばめっこ」の設立から10年経ちます。

主となる事業「放課後等デイサービス」も障害者自立支援法の「児童デイサービス」が制度化されたことから始まり、今では法整備も進み、いろいろなサービスを使えるようになりました。

さて法整備以前の子どもたちは？と言うと…。仙台市では17年前、『障がい児にも放課後の居場所が必要』という、お母さんたちの希望が仙台市役所の担当者を動かし、仙台市から補助を受けながら、障がいのある子どもたちの放課後の居場所作りが始まりました。

今や放課後等デイサービス事業所数は90カ所以上となり『居場所作り』も次のステージに進み、保護者と共に『放課後の過ごし方』を考え、将来に向けた生活の基盤作りの一助を担う場となりつつあります。

これからもつばめっこでは17年前のお母さんたちの思いのように、いつも『今子どもたちに必要なこと』を常に考え大切に活動をしていきたいと思っています。

★★★つばめっこ創設10周年記念企画事業★★★

『～楽しい・つながり・ありがとう～』

9月24日(土)に行われた『芋煮会』は大盛況のうちに終わることができました。参加者のみなさま、色々とお手配していただいた役員のみなさま、本当にありがとうございました。今は、10周年記念誌の発行に向けて動いています。楽しみにしててください。これからもつばめっこをよろしくお願いいたします。

～日本舞踊を楽しむ会～

今年度から泉中央つばめっこで日本舞踊の稽古をしています！

花柳流 花柳寿美衡先生、花柳弥葉先生より、月1回、日本舞踊の稽古をしていただいております。今は、つばめっこの卒業生を始め、つばめっこを利用している高校生、中学生、小学生が参加し、「さくらさくら」「絵日傘」「大漁歌い込み」などの曲に合わせて扇子や紙傘を使い、回を重ねるごとに上達しています。参加者は随時、募集しております。また、見学だけでも構いませんので興味ある方は泉中央つばめっこまでご連絡ください。



みんなで着物を着て踊ったね！
雰囲気あって一味違う踊りになったかな？

※放課後等デイサービス※

<p>『泉中央つばめっこ』 住所:981-3133 仙台市泉区泉中央2丁目19-10 TEL/FAX:022-371-0760</p>	<p>『七北田つばめっこ』 住所:981-3131 仙台市泉区七北田字日野123-9 TEL:022-372-0031 FAX:022-739-7236</p>
<p>長かった夏休みもあっという間に終わり、気が付けば秋が深まる時期になってきました。 今年の夏休みは、台風の影響により活動を余儀なく変更した日もありましたが、楽しく活動することができました。 毎年恒例の七ツ森希望の家宿泊、施設見学、土器作り、調理などを行いました。また、沢遊びへ行くと、水をバチャバチャしたり、お魚を追いかけて、高学年の子ども達はちょっと遠くまで川の中を歩いたり、個々に楽しんでいました。 今後も子ども達と楽しく活動を行っていきます。</p> 	<p>七北田つばめっこの夏休み、今年も盛り沢山な内容の活動になりました(^-^) 東西線に乗って八木山動物公園へ。TVでニュースになった「脱走したチンパンジー」に会えました!! 蔵王ハートランドではバター作り体験。美味しいバターが作れたことも楽しかったのですが、高速道路を利用したドライブも出来て、車や道路好きの子ども達にはそれもまた好評でした(笑)。 他にも、ベガロポリスでボウリング等々、毎日色々な活動ができました!(^~^) 今年の夏休み、子ども達にとって楽しい思い出が1つでも作ってもらえていたら、とても嬉しいです(*^~^*)</p> 
<p>『栄つばめっこ』 住所:983-0011 仙台市宮城野区栄2丁目2-19 TEL/FAX:022-786-3031</p>	<p>『福室つばめっこ』 住所:983-0011 仙台市宮城野区栄4丁目16-18-201 TEL/FAX:022-254-2011</p>
<p>栄の今年の夏休みは、北は岩出山の感覚ミュージアムやパレットおおさきから、南は岩沼の仙台空港、太白区袋原の「まどか」、西の山形へ…は、台風で行けなくなり残念でしたが、宮城県内を大冒険! 天気よく晴れるとビックリするほど暑かったり、反対に台風や大雨など、困った天気に悩まされながらも、子ども達はみんな元気いっぱい。 これからも、楽しんでもらえる活動を計画していきます。</p> 	<p>秋も深まり、冬の足音が聞こえてきそうな今日この頃、子ども達は元気に活動しています。 今年の夏休みケアは例年に比べ、お出かけ活動を多く取り入れました。松島の遊覧船、仙台市科学館や定義山、うみの杜水族館や、奥松島にある縄文村でアクセサリー作りをした後に、大高森にトレッキングに行きました。 また、毎年恒例の親子参加バーベキューにも、数多くの保護者の皆様に参加していただき、楽しい時間を共有できました。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。 これからも子ども達にとってより良い活動を考え、アットホームな雰囲気の中で活動していきたいと思っております。</p> 

※短期入所(ショートステイ)※

<p>『つばめっこハウス』 住所:981-3131 仙台市泉区七北田字日野123-9 TEL:022-372-0031 FAX:022-739-7236</p>
<p>現在のつばめっこハウスでは、相変わらず週末に利用希望が集中している状況です。 ご利用していただく際は、なるべくご自宅に近い環境で宿泊していただけるように、ご自宅を使っている「タオル、ゲーム、CD、DVD など」を持ってきていただき、安心して過ごせるような配慮をしています。 ご利用の際、ご不明な点がございましたらご連絡ください。 みなさまには、大変ご不便をおかけしておりますが、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

※相談支援事業所※

<p>『つばめっこセンター』 住所:981-3131 仙台市泉区七北田字日野123-9 TEL:022-372-0031 FAX:022-739-7236</p>
<p>当センターが開設してから8ヶ月。あっという間ですね(笑)。 現在は、小学生～高校生の家庭から問い合わせが多くあります。 計画相談の契約者も月を追うごとに、少しずつ増え、対応のできない月もでていきます“(---)” 対応できない方には、必要に応じて基本相談対応をしていました。 希望どおりの対応ができないこともあります。悩みごとなどありましたら、当センターにご連絡をいただければ幸いです☆ どうぞ、今後も、よろしくお願いたしますm(_)_m</p>

前理事である「阿部 幸泰 氏」のHP記事(雑学バックナンバー)を紹介します。
阿部 幸泰 氏は、障害児(者)関係だけではなく、教育や社会などの分野の記事も書かれています。
HP記事から抜粋したものを記載しますので、是非、ご覧ください。
記事を読んだ感想などがありましたら、各事業所の職員へお伝えください。

「お金にならないが、やらねばならないことがある…」

恩師の元院長の近藤文雄先生(HP「雑学 BN」の随想等関係(Ⅰ)、2002. 4.2.「辞職挨拶」参照)が40年程前に故郷に帰り、医院の仕事の傍らボランティアグループ「太陽と緑の会」を創立し、後に障害者の通所作業所に発展したNPOの機関誌「わから版(2Pに貼付:抜粋)」が届いた。
その中に、近藤先生の言葉と、「夜明け前の子どもたち」等の福祉ドキュメンタリー長編映画の巨匠であった柳澤寿男監督の言葉に触れた文章があった。近藤先生の言葉は「自然なこころの発露」であったが、就職間もない頃に先生から教えていただいた「惻隱の情(HP「雑学」のマスコミ等コメント関係(Ⅳ)2007.10.09.「人が本来持っている『惻隱の情』)と通じる先生の言葉だなあと感慨深く目にした。
柳澤監督(HP「雑学 BN」の福祉・教育・医療関係(Ⅱ)、2003. 6. 2.「『働く』とは、どういうことか?」参照)の言葉は、「お金にならないが、やらなければならないことがこの世にいろいろある…」。

貧乏してもやらなければならないことが、この世にある…。」であった。
筋ジストロフィーを対象とした「ぼくの中の夜と朝」の映画作りの折に、監督から「『文明の発達』とは、どう考えるか?」と問われたが、応えられなかった。その頃は、人類を月に送り始めた時代。月に人類が行けるような科学技術の進歩の世の到来を『文明の発達』というのではなく、「自らの責任でないのに生きることに不平等、不公平、不自由を被っている人々から、社会の責任でそれらを取り除いていく世を作り上げることこそ『文明の発達』と云うべき。そのために一人一人の心に精神革命(価値観の変容)を呼び起こすぐらいの気概で仕事するように!」と教えられた。
それだけに、「お金にならないが、やらなければならないことがこの世にいろいろある…」と云う言葉が、30数年を越えてもずしりと響いてくる。
今更ながら、お二人から自分の精神構造に多大の影響を受けていることに改めて気づき、少々現状に甘んじている今の自分を叱責されているように思え、改めてお二人の言葉に接し、緊張から身震いする。

追伸:「太陽と緑の会」のHPは、HP「雑学 BN」のリンク関係(Ⅰ)に掲載・リンクしています。
このHPには、地元新聞に掲載された近藤先生のエッセイ集の掲載コーナーもありますので、ご覧ください。

阿部幸泰 (2009年3月13日記)

※NPO会員募集※

つばめっこの活動を円滑に運営するため、会員を募っています。

正会員:5,000円(一口) 賛助会員:2,000円(一口)

【入金先】

口座番号:七十七銀行高砂支店 普通 9103279
名義人:トクヒ つばめっこ 理事 桑原 則子

【お問い合わせ】

〒981-3131 宮城県仙台市泉区七北田字日野123-9
TEL:022-372-0031 FAX:022-739-7236